

Point は災害発生後 72 時間のサイレントタイム だから音の出ない気球での情報取得と インクルーシブな避難誘導を狙う

基盤的技術の構築と統合により着実な基礎研究を進め基盤 A や NEDO など大型の研究費獲得に繋げる

無音で情報収集するための気球をつくる

水素マグネシウムを活用した
自動放球システムの検討

マイクロフォンアレイおよ
び映像による災害情報の収
集装置の開発

気球へのフィルム型アン
テナの実装による情報イ
ンフラシステムの構築

2025	③モックアップ製造による実証研究へ	③気球搭載による実地実験	③フィルムプリンティングによるアンテナ構築の検討 2
2024	②係留気球自動放球システム設計 PoC	②映像・音情報の収集の実証実験 (学内設置)	②フィルムプリンティングによるアンテナ構築の検討 1
2023	①水素マグネシウム関連の素材および情報収集	①マイクロフォンアレイの試作開発	①気球への導電インクプリンティング技術基礎研究

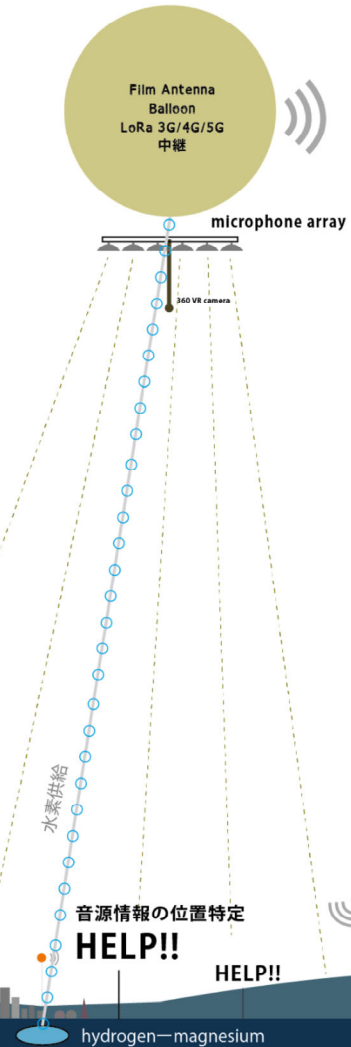
情報配信・救助のシステムをつくる

取得情報の AI 分析による
情報分解能の高度化と
GIS へのマッピング

UAV による災害支援
システムの構築

2025	③データ収集・解析装置の実証的開発	③避難想定区域での実証研究
2024	②音声データ収集・解析およびマッピングシステムの検討 (PoC)	②インクルーシブな避難をドローンで支援する基礎研究
2023	①音声解析系の基礎研究および画像解析による情報収集	①災害直後の 72 時間での支援方法論の基礎調査

GIS+AI で災害情報を見える化へ



静音で短時間での
避難誘導方法の確立

HELP!!

音源情報の位置特定
HELP!!

HELP!!

hydrogen—magnesium